



## 超音波検査における Detective flow imaging (DFI)、Shear wave elastography (SWE) を用いた甲状腺濾胞性腫瘍・副甲状腺腫瘍の鑑別診断の開発

研究実施許可日から 2025 年 03 月 31 日までに甲状腺濾胞性腫瘍・副甲状腺腫瘍のために手術を受けた患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「超音波検査における Detective flow imaging (DFI)、Shear wave elastography (SWE) を用いた甲状腺濾胞性腫瘍・副甲状腺腫瘍の鑑別診断の開発」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、研究実施許可日から 2025 年 03 月 31 日までに日本医科大学付属病院内分泌外科にて、甲状腺濾胞性腫瘍・副甲状腺腫瘍のために手術を受けられた患者さんの診断方法を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：超音波検査における Detective flow imaging (DFI)、Shear wave elastography (SWE) を用いた甲状腺濾胞性腫瘍・副甲状腺腫瘍の鑑別診断の開発

研究期間：研究実施許可日～2026 年 03 月 31 日

研究責任者：日本医科大学付属病院 内分泌外科科 助教・医員 銭 真臣

### (2) 研究の意義、目的について

超音波検査は甲状腺・副甲状腺のしこりに対して最も簡便で侵襲がない検査です。しこりの形状だけではなく、しこりの血流や硬さについて調べることができます。しこりの形状・境界のみならず、細かい血管の検出、組織の硬さを測定することで、術前に甲状腺・副甲状腺のしこりが癌かどうかできるか、副甲状腺のしこりの位置の特定やリンパ節・甲状腺のう胞と見分けられるかを目的としています。

### (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

研究実施許可日から 2025 年 03 月 31 日までに日本医科大学付属病院内分泌科にて、甲状腺濾胞性腫瘍・副甲状腺腫瘍に対して手術を受けられた患者さんの超音波検査所見などを前向きに解析し、手術所見と病理所見の関係性についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、血液検査所見、超音波検査所見、手術術式、手術所見、病理診断結果、TNM 分類（癌のどれだけ進行しているか（病期）を表す指標）など

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 内分泌外科 大学院教授 杉谷 巖

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6799